

つくば市上下水道審議会（下水道事業 第5回）

次 第

日時 令和7年6月2日（月）
午前10時
場所 つくば市役所本庁舎2階
201 会議室

1 開 会

2 議 事

使用料体系の検討

3 その他

4 閉 会

資 料 一 覧

つくば市上下水道審議会（下水道事業 第5回）

資料1 使用料体系の検討

資料2 使用料体系案一覧

資料3 スケジュール

つくば市上下水道審議会（下水道事業 第5回） 座席表

場所：201会議室

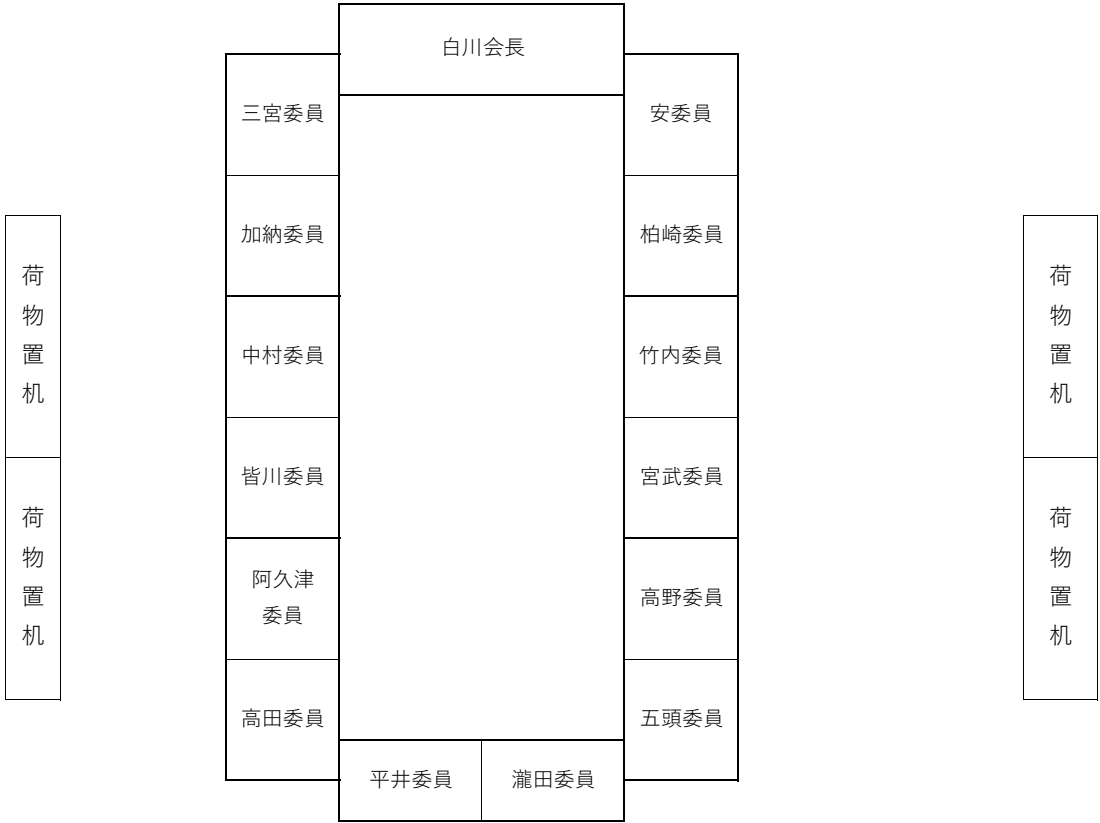
スクリーン

PC

プロジェクター

入口

入口



上下水道局 木村局長	上下水道局 渡辺次長	下水道総務課 桜井課長	下水道総務課 山下補佐	下水道総務課 荒木係長	上下水道業務課 小川課長	下水道工務課 富田課長	下水道工務課 青柳補佐
---------------	---------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	----------------	----------------

下水道総務課 土田主任	下水道総務課 藤井主事	下水道総務課 佐伯係長	下水道総務課 飯竹主任	上下水道業務課 大浦係長	上下水道業務課 栗原補佐	下水道工務課 橋本係長	下水道工務課 加納係長
----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------

水道総務課 水橋課長	水道総務課 石渡補佐	水道総務課	水道総務課	委託業者	委託業者	下水道工務課 小松係長	
---------------	---------------	-------	-------	------	------	----------------	--

ベルトパーテーション

傍聴人席

つくば市上下水道審議会 委員名簿

任期：２年（令和７年１月28日から令和９年１月27日まで）

氏 名	ふりがな	所 属 等	条例中の規定	
白川 直樹	しらかわ なおき	筑波大学システム情報系 准教授	学識経験者	１号
三宮 武	さんのみや たけし	国土交通省国土技術政策総合研究所 上下水道研究部長	学識経験者	１号
加納 誠介	かのう せいすけ	日本政策投資銀行職員 (産業技術総合研究所)	学識経験者	１号
中村 道子	なかむら みちこ	公認会計士	学識経験者	１号
皆川 幸枝	みながわ ゆきえ	元つくば市議会都市建設委員会委員長	学識経験者	１号
阿久津 裕子	あくつ やすこ		市民	２号
高田 佳恵子	たかだ かえこ		市民	２号
平井 美季	ひらい みき		市民	２号
瀧田 風歌	たきた ふうか		市民	２号
五頭 泰誠	ごとう やすまさ	つくば市議会議員	市議会の議員	３号
高野 文男	たかの ふみお	つくば市議会議員	市議会の議員	３号
宮武 晃司	みやたけ こうじ	筑波研究学園都市交流協議会 企画調整委員会長 (国土交通省国土技術政策総合研究所 研究総務官)	関係行政機関の職員	４号
竹内 秀治	たけうち ひではる	つくば市工業団地企業連絡協議会 (荒川化学工業株式会社)	関係行政機関の職員	４号
柏崎 元治	かしわざき げんじ	茨城県企業局県南水道事務所長	関係行政機関の職員	４号
安 正弘	やす まさひろ	茨城県流域下水道事務所長	関係行政機関の職員	４号

（敬称略）

使用料体系の検討

使用料体系（案）のパターン検討（前回）

前回の審議会においては、基本使用料、従量使用料（従量単価、累進区分）の3要素について、以下の組合せで使用料体系（案）のパターンを作成した。

要素Ⅰ	パターン		考え方
基本使用料	1	2,450	計画汚水量比率の日平均と時間最大汚水量の変動比率（0.5：1.0）を用いる
	2	1,700	計画汚水量比率の日平均と日最大汚水量の変動比率（0.75：1.0）を用いる
	3	1,300	第3回において提案のあった折衷案

要素Ⅱ	パターン		考え方
累進区分	ア	3区分（現行）	現行の3区分（1～40m ³ 、41～200m ³ 、201m ³ ～）
	イ	4区分（小口分割）	4区分（1～20m ³ 、21～40m ³ 、41～200m ³ 、201～）
	ウ	4区分（大口分割）	4区分（1～40m ³ 、41～200m ³ 、201～1,000m ³ 、1,001m ³ ～）

要素Ⅲ	パターン		考え方
従量単価	A	需要変動考慮	下水道使用料算定の基本的考え方に基づき、需要変動の比率に応じて固定費を按分した場合
	B	改定率同程度	各水量区分における改定率が、同程度となるように（累進度の逆転やマイナス改定が発生しないように）調整した場合

前回の審議会でいただいたご意見

基本使用料

- 2,450円…八潮の陥没事故も踏まえ、事故対応など安全面を考慮した幅を持つ方が良い⇨他自治体と比較して高く感じる。
- 1,700円…固定費の基本使用料への配賦率を考えると妥当な案である。激変緩和措置として今回1,700円とし、次回以降に2,450円とすることも考えられる。
- 1,300円…小口側への配慮を考慮すると1,300円か、それ以下が望ましい。
- その他…他自治体と比較すると、2,000円前後が妥当だと思われる。

水量区分

- 小口側への配慮のため、小口側の区分を分割したほうがよい。
- 区分を細分化し、従量単価を細かく設定するほうがよい。

従量単価（改定率、累進度）

- 各水量区分における改定率が同程度（改定率20％）となるように調整してほしい。
- 全国的に物価高であり、一人暮らしの高齢者やひとり親世帯への負担軽減が必要である。
⇨大口側は既に排水処理に費用負担が発生している。ひとり親世帯等への対応は福祉として考えることであり、他の使用者の下水道使用料で賄うべきでない。
- 累進度を県内平均（1.52）に合わせて設定し、他の項目について逆算してはどうか。

今回の検討案作成にあたっての条件設定・調整方法

基本使用料

- ・ 1,700円と1,300円の2パターンとした。

水量区分

- ・ 基本使用料増額の影響を低減するため、1～10m³で区分を分けた。
- ・ 区分を細分化して計算したところ、41～200m³の一部の区分と201m³～の区分の単価が逆転する現象が見られた。
→全国的に単価が逆転している自治体は見られないため、そのままの区分とするか、区分そのものを統合した。

従量単価（改定率、累進度）

- ・ 大口側の従量単価は、単純20%改定時に180円となるため、現行の150円～170円の幅で設定した。
- ・ 小口側は、大口側の幅と各ケースの条件を満たし、使用料収入が48億円に最も近づく値を、10円単位で調整した。
- ・ 基本使用料が1700円の場合に、AとCの累進度に関きがあったため、累進度が県内平均（1.52）に近いB案を設定した。
- ・ 累進度が大きい案は「下水道使用料算定の基本的考え方」に基づく使用料体系からの乖離が大きいため、次回以降の改定時に「基本的考え方」に基づく使用料体系を目指す場合、小口側への影響が大きくなるおそれがある。

参考 前回までの振り返り

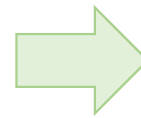
使用料体系について

使用料の改定にあたっては、3つの変数があります。

- ①基本使用料の額
- ②従量使用料の区分の数
- ③従量使用料の区分間の差（単価）

} **今回の審議内容**

基本使用料	使用水量	従量使用料
500円	0～40m ³	130円
	41～200m ³	140円
	201m ³ ～	150円



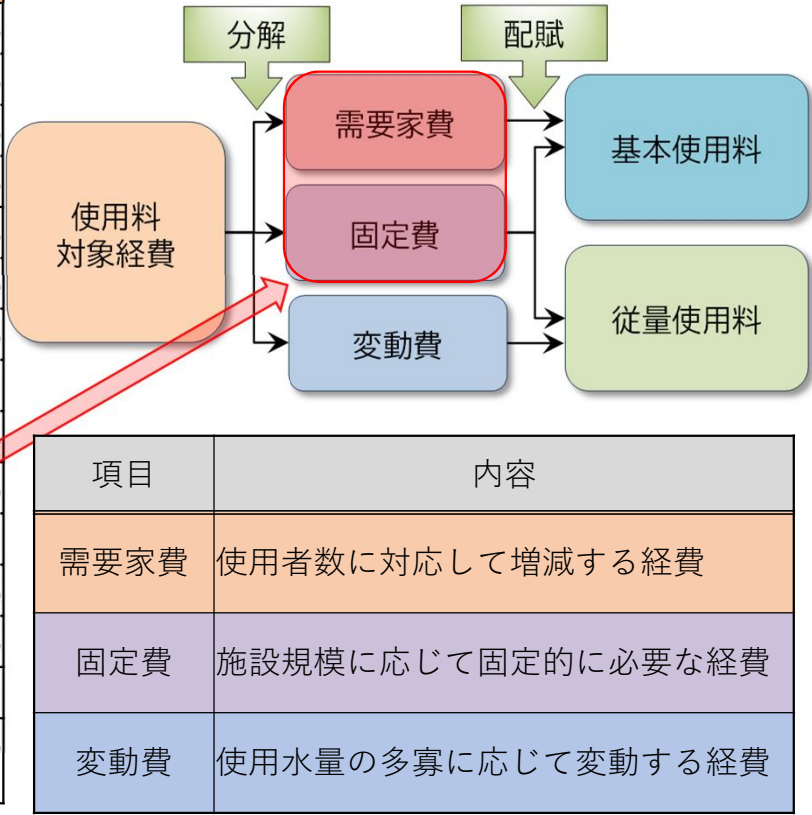
基本使用料	使用水量	従量使用料
上げる？ 下げる？ ①	区分の数？ ②	区分間の 差？ ③

※ 2 か月、税抜き

使用料対象経費の分解と配賦

R8年度：使用料対象経費（千円）		需要家費	固定費	変動費	合計	
管路	職員給与費	-	22,128	5,001	27,129	0.6%
	修繕費	-	34,934	-	34,934	0.7%
	委託料	-	56,503	51,211	107,714	2.2%
	その他	-	1,370	-	1,370	0.0%
ポンプ場	職員給与費	-	21,334	4,220	25,554	0.5%
	動力費	-	-	194,568	194,568	4.1%
	修繕費	-	19,593	-	19,593	0.4%
	委託料	-	12,277	504,186	516,463	10.8%
	その他	-	-	-	-	0.0%
その他	職員給与費	-	107,774	18,463	126,237	2.6%
	流域維持管理負担金	-	227,617	1,277,734	1,505,351	31.3%
	委託料	31,898	-	-	31,898	0.7%
	その他	251,905	11,178	7,064	270,147	5.6%
資本費		-	1,941,076	-	1,941,076	40.4%
合計		283,803 5.9%	2,455,784 51.1%	2,062,447 42.9%	4,802,034 100.0%	

固定的経費
57%



基本使用料の検討パターンと評価

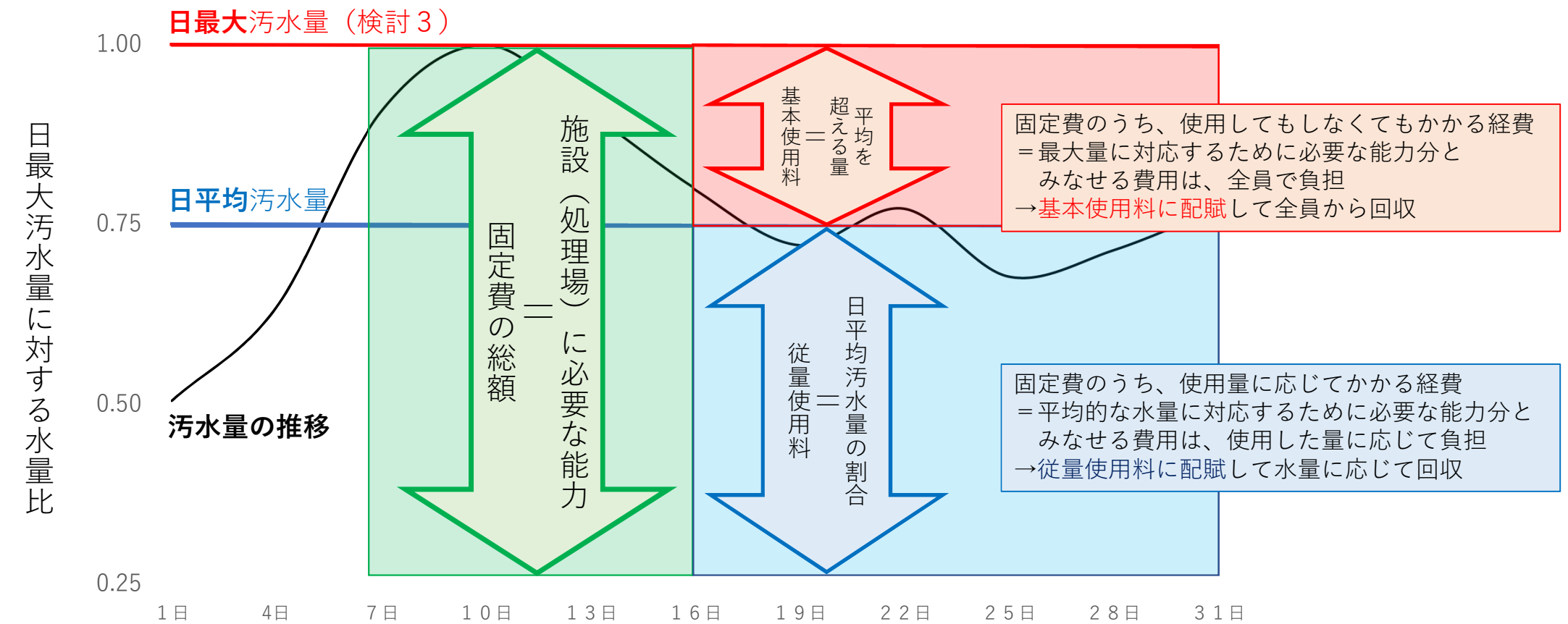
※R6年度調定データを元に再計算

基本使用料への配賦方法		算定方法	基本使用料 (2か月、 税抜き)	基本使用料／ 使用料収入 (%)	基本 使用料 改定率	基本使用料としての評価
検討 1	使用料算定の原則	需要家費と 固定費の100% を基本使用料に配賦	3,900円	50.5%	7.8倍	需要家費と固定費は基本使用料で賄うという原則に忠実な形
		県内平均	2,600円	37.6%	5.2倍	
検討 2	需要の変動に基づく配賦 (日平均：時間最大)	固定費の50% (※57%) を基本使用料に配賦	2,450円	35.1%	4.8倍	管路とポンプの処理能力を考慮しており、処理場を持たないつくば市に最も適した形
		類似団体平均	2,050円	30.3%	2.6倍	
検討 3	需要の変動に基づく配賦 (日平均：日最大)	固定費の25% (※35.6%) を基本使用料に配賦	1,700円	24.1%	3.4倍	処理場を有する場合の算定方法ではあるが、需要の変動を考慮した形
検討3.5		検討 3 と 検討 4 の中間値	1,300円	18.8%	2.6倍	第 3 回審議会中の意見より
検討 4	固定費の費目の一部を配賦	固定費の14% (管路・ポンプ場以外の経費) を基本使用料に配賦	950円	13.1%	1.9倍	固定費のうち、性質上基本使用料に配賦すべき最低限の費用 (職員給与費、流域維持管理負担金) のみを基本使用料に配賦した形
検討 5	平均改定率	平均改定率20% に合わせて基本使用料を設定	600円	8.9%	1.2倍	平均改定率のみを考慮した形
		現在	500円	8.1%		

※職員給与費と流域維持管理負担金については、費用の性質上全額基本使用料に配賦しているため、実際の配賦率は () 内の数値となる。

需要変動に基づく配賦の方法

検討3 固定費の基本使用料への配賦方法：需要の変動に基づく配賦



従量使用料を構成する要素

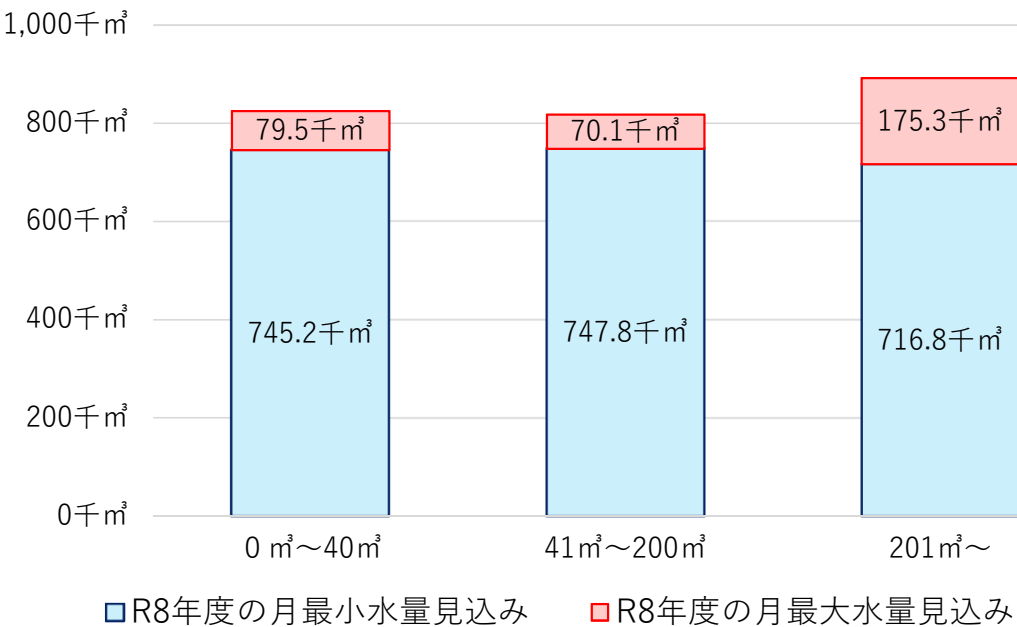
要素	説明	基本的考え方（※）	現行				県内平均	類似団体平均
水量区分	汚水の排水量の段階に対応した水量区分	3 から 9 程度のグループに区分することが一般的	区分数 3	1 m ³ ～ 40 m ³	41 m ³ ～ 200 m ³	201 m ³ ～	区分数 4.5	区分数 5.9
従量単価	使用量の多寡に応じて、水量当たりの価格により賦課されるもの	ボリュームゾーンに分布する使用者群において、汚水処理原価に近い使用料単価を負担することが基本	最高			150円	185.8円	254.5円
					140円			
			最低	130円			135.1円	95.9円
累進度	使用量の増加に応じて従量単価がどの程度高くなるかを示したもの	排水需要の実態等を適切に勘案し、使用者間の負担の公平性の観点にも留意した上で設定するもの	150円 ÷ 130円 = 1.15				1.52	6.56

※国土交通省「人口減少下における維持管理時代の下水道経営のあり方検討会報告書」及び日本下水道協会「下水道使用料算定の基本的考え方」より

累進が必要となる理由

水量区分毎の需要変動について、令和8年度の見込みは以下の通りとなる。

R4-R6水量実績に基づくR8需要変動見込み



○最大量に対応するために必要な部分においては、大口需要者の占める割合が大きい。

○常に使用が想定される部分においては、水量区分ごとの割合がほぼ一定である。

→使用者間の負担公平を図るため、適切な従量単価（累進度）を設定する必要がある。

従量使用料の算定

※日本下水道協会「下水道使用料算定の基本的考え方」に基づき算定

基本使用料が1,700円で現行の3区分の場合、水量区分毎に使用料対象経費を按分すると、以下の通りとなる。→基本使用料と区分が定まれば、需要変動を考慮した使用料体系は一意に定まる。

使用者 区分	基本使用料 単価（円）	基本使用料（千円）			従量使用料（千円）			従量使用料 単価（円）
	①基本使用料単価 ×調定件数 =基本使用料A+B	A+B	需要家費 A	固定費B+C		変動費 D	C+D	
				基本使用料 部分B	従量使用料 部分C			
合計	1,700円	1,157,677	283,803	2,455,784		2,062,447	3,644,357	④従量使用料C+D を、各区分における 有収水量で按分
0 m ³ ～40m ³	1,700円	888,888	217,910	873,874	1,581,910	738,076	1,247,012	128.79 ⇒130円
41m ³ ～200m ³	1,700円	260,163	63,779	196,384	494,625	682,156	1,176,781	131.70 ⇒130円
201m ³ ～	1,700円	8,626	2,115	6,511	578,349	642,214	1,220,564	144.53 ⇒140円

②固定費の一部(B)を基本使用料に、
残り(C)を従量使用料に配賦

③Cを、常に使用が想定される部分と、最大量に対応する
ために必要な部分に分解し、P10の比率に基づいて配賦

下水道使用料 改定案一覧

※金額は全て2か月税抜（円）

資料 2

		A				B			C			D		
現 行(R8)		「基本的考え方」に基づく使用料体系のマイナス改定部分を小口側の負担軽減に充てたもの(1700円・3区分)				累進度が県内平均相当となるように調整したもの(1700円・3区分)			AとDの従量単価の中間値をとったもの(1700円・4区分)			改定率が同程度となるように調整したもの(1700円・4区分)		
基本使用料 500		基本使用料 1,700												
水量区分 従量単価(円)		水量区分	改正前単価	改正後単価	水量区分	改正前単価	改正後単価	水量区分	改正前単価	改正後単価	水量区分	改正前単価	改正後単価	
(参考)	1-10㎡	130	130	110	1-10㎡	130	100	1-10㎡	130	80	1-10㎡	130	50	
	11-40㎡	130		130	11-40㎡		140	11-40㎡		140	11-40㎡		150	
	41-200㎡	140	140	150	41-200㎡	140	150	41-200㎡	140	150	41-200㎡	140	160	
	201㎡-	150	150		201㎡-	150		201㎡-	150	160	201㎡-	150	170	
	累進度	1.15	累進度	1.15	1.36	累進度	1.15	1.50	累進度	1.15	2.00	累進度	1.15	3.40
	水量区分	使用料(円)	使用料(円)	改定率	差額(円)	使用料(円)	改定率	差額(円)	使用料(円)	改定率	差額(円)	使用料(円)	改定率	差額(円)
1人世帯	10㎡	1,800	2,800	55.6%	1,000	2,700	50.0%	900	2,500	38.9%	700	2,200	22.2%	400
2人世帯	20㎡	3,100	4,100	32.3%	1,000	4,100	32.3%	1,000	3,900	25.8%	800	3,700	19.4%	600
3人世帯	40㎡	5,700	6,700	17.5%	1,000	6,900	21.1%	1,200	6,700	17.5%	1,000	6,700	17.5%	1,000
アパート、保育所	100㎡	14,100	15,700	11.3%	1,600	15,900	12.8%	1,800	15,700	11.3%	1,600	16,300	15.6%	2,200
学校、飲食店	200㎡	28,100	30,700	9.3%	2,600	30,900	10.0%	2,800	30,700	9.3%	2,600	32,300	14.9%	4,200
学校、スーパー	500㎡	73,100	75,700	3.6%	2,600	75,900	3.8%	2,800	78,700	7.7%	5,600	83,300	14.0%	10,200
研究機関、大型店舗	1,000㎡	148,100	150,700	1.8%	2,600	150,900	1.9%	2,800	158,700	7.2%	10,600	168,300	13.6%	20,200
大学、研究所	200,000㎡	29,998,100	30,000,700	0.0%	2,600	30,000,900	0.0%	2,800	31,998,700	6.7%	2,000,600	33,998,300	13.3%	4,000,200

		E			F			G			(参考)		
現 行(R8)		「基本的考え方」に基づく使用料体系のマイナス改定部分を小口側の負担軽減に充てたもの(1300円・3区分)			EとGの従量単価の中間値をとったもの(1300円・4区分)			改定率が同程度となるように調整したもの(1300円・4区分)			基本使用料及び従量単価について、単に20%改定したもの(600円・3区分)		
基本使用料 500		基本使用料			1,300						基本使用料 600		
水量区分 従量単価(円)		水量区分	改正前単価	改正後単価	水量区分	改正前単価	改正後単価	水量区分	改正前単価	改正後単価	水量区分	改正前単価	改正後単価
1-10㎡ 130		1-10㎡	130	120	1-10㎡	130	110	1-10㎡	130	100	1-10㎡	130	156
11-40㎡ 130		11-40㎡		140	11-40㎡		140	11-40㎡		150	11-40㎡		
41-200㎡ 140		41-200㎡	140	160	41-200㎡	140	160	41-200㎡	140	160	41-200㎡	140	168
201㎡- 150		201㎡-	150		201㎡-	150	170	201㎡-	150	170	201㎡-	150	180
累進度 1.15		累進度	1.15	1.33	累進度	1.15	1.55	累進度	1.15	1.70	累進度	1.15	1.15
(参考)	水量区分 使用料(円)	使用料(円)	改定率	差額(円)	使用料(円)	改定率	差額(円)	使用料(円)	改定率	差額(円)	使用料(円)	改定率	差額(円)
	1人世帯 10㎡ 1,800	2,500	38.9%	700	2,400	33.3%	600	2,300	27.8%	500	2,160	20.0%	360
	2人世帯 20㎡ 3,100	3,900	25.8%	800	3,800	22.6%	700	3,800	22.6%	700	3,720	20.0%	620
	3人世帯 40㎡ 5,700	6,700	17.5%	1,000	6,600	15.8%	900	6,800	19.3%	1,100	6,840	20.0%	1,140
	アパート、保育所 100㎡ 14,100	16,300	15.6%	2,200	16,200	14.9%	2,100	16,400	16.3%	2,300	16,920	20.0%	2,820
	学校、飲食店 200㎡ 28,100	32,300	14.9%	4,200	32,200	14.6%	4,100	32,400	15.3%	4,300	33,720	20.0%	5,620
	学校、スーパー 500㎡ 73,100	80,300	9.8%	7,200	83,200	13.8%	10,100	83,400	14.1%	10,300	87,720	20.0%	14,620
	研究機関、大型店舗 1,000㎡ 148,100	160,300	8.2%	12,200	168,200	13.6%	20,100	168,400	13.7%	20,300	177,720	20.0%	29,620
	大学、研究所 200,000㎡ 29,998,100	32,000,300	6.7%	2,002,200	33,998,200	13.3%	4,000,100	33,998,400	13.3%	4,000,300	35,997,720	20.0%	5,999,620

○区分について

基本使用料増額の影響を低減するため、1～10㎡で区分を分けました。

区分を細分化して計算したところ、41～200㎡の一部の区分と201㎡～の区分の単価が逆転することがあったため、区分を統合しているケースがあります。

○従量単価について

大口側の従量単価は、単純20%改定時に180円となるため、150円（現行）～170円の幅で設定しました。

小口側は、大口側の幅と各条件を満たし、使用料収入が48億円に最も近づく値を、10円単位で調整しました。

○累進度について

Bは、基本使用料が1700円の場合に、累進度が県内平均（1.52）に最も近づくように調整しました。

累進度が大きい案は「下水道使用料算定の基本的考え方」に基づく使用料体系からの乖離が大きいため、次回の改定時に小口側への影響が大きくなります。

検討パターンの詳細①

現 行(R8)								
水量区分	使用者目安	基本使用料 ①	従量使用料 ②	使用料合計 ③=①+②	改定前使用料 ④	差額 ③-④	改定率 ③/④×100	使用料単価
10 m3	1人世帯		1,300	1,800	1,800	0	0.0%	180.0
20 m3	2人世帯		2,600	3,100	3,100	0	0.0%	155.0
30 m3	2人世帯		3,900	4,400	4,400	0	0.0%	146.7
40 m3	3人世帯		5,200	5,700	5,700	0	0.0%	142.5
50 m3	4人世帯		6,600	7,100	7,100	0	0.0%	142.0
100 m3	アパート、保育所	500	13,600	14,100	14,100	0	0.0%	141.0
200 m3	学校、飲食店		27,600	28,100	28,100	0	0.0%	140.5
500 m3	学校、スーパー		72,600	73,100	73,100	0	0.0%	146.2
1,000 m3	研究機関、大型店舗		147,600	148,100	148,100	0	0.0%	148.1
10,000 m3	大学、研究所		1,497,600	1,498,100	1,498,100	0	0.0%	149.8
100,000 m3	大学、研究所		14,997,600	14,998,100	14,998,100	0	0.0%	150.0
200,000 m3	大学、研究所		29,997,600	29,998,100	29,998,100	0	0.0%	150.0
合計(千円)		347,257 8.6%	3,711,046 91.4%	4,058,303 100.0%	4,058,303	0	0.0%	149.6
水量区分	有収水量(m ^l)	使用料収入(千円)	使用料単価(円)	従量単価(円)				
1-10	901,381	190,407	211.2	130				
11-20	2,242,127	365,751	163.1	130				
21-40	6,566,146	962,225	146.5	130				
41-70	6,759,267	959,554	142.0	140				
71-100	1,404,268	198,326	141.2	140				
101-200	810,476	114,088	140.8	140				
201-500	907,249	130,548	143.9	150				
501-1000	770,630	113,578	147.4	150				
1001-	6,770,681	1,013,324	149.7	150				
合計		27,132,225	4,058,303	149.6				
累進度				1.15				

B 累進度が県内平均相当となるように調整したもの(1700円・3区分)								
水量区分	使用者目安	基本使用料(円) ①	従量使用料(円) ②	使用料合計(円) ③=①+②	改定前使用料(円) ④	差額(円) ③-④	改定率 ③/④×100	使用料単価 (円/m ³)
10 m3	1人世帯		1,000	2,700	1,800	900	50.0%	270.0
20 m3	2人世帯		2,400	4,100	3,100	1,000	32.3%	205.0
30 m3	2人世帯		3,800	5,500	4,400	1,100	25.0%	183.3
40 m3	3人世帯		5,200	6,900	5,700	1,200	21.1%	172.5
50 m3	4人世帯		6,700	8,400	7,100	1,300	18.3%	168.0
100 m3	アパート、保育所	1,700	14,200	15,900	14,100	1,800	12.8%	159.0
200 m3	学校、飲食店		29,200	30,900	28,100	2,800	10.0%	154.5
500 m3	学校、スーパー		74,200	75,900	73,100	2,800	3.8%	151.8
1,000 m3	研究機関、大型店舗		149,200	150,900	148,100	2,800	1.9%	150.9
10,000 m3	大学、研究所		1,499,200	1,500,900	1,498,100	2,800	0.2%	150.1
100,000 m3	大学、研究所		14,999,200	15,000,900	14,998,100	2,800	0.0%	150.0
200,000 m3	大学、研究所		29,999,200	30,000,900	29,998,100	2,800	0.0%	150.0
合計(千円)		1,180,674 24.4%	3,661,353 75.6%	4,842,027 100.0%	4,058,303	783,724	19.3%	178.5
水量区分	有収水量(m ^l)	使用料収入(千円)	使用料単価(円)	従量単価(円)	改定前従量単価(円)	区分毎改定率		
1-10	901,381	374,817	415.8	100	130	96.9%		
11-20	2,242,127	507,011	226.1	140	130	38.6%		
21-40	6,566,146	1,201,690	183.0	140	130	24.9%		
41-70	6,759,267	1,133,201	167.7	150	140	18.1%		
71-100	1,404,268	226,204	161.1	150	140	14.1%		
101-200	810,476	127,164	156.9	150	140	11.5%		
201-500	907,249	138,710	152.9	150	150	6.3%		
501-1000	770,630	116,549	151.2	150	150	2.6%		
1001-	6,770,681	1,016,681	150.2	150	150	0.3%		
合計		27,132,225	4,842,027	178.5	-	-	19.3%	
累進度				1.50	1.15			

(参考) 「基本的考え方」に基づき算定した使用料体系(1700円・7区分)								
水量区分	使用者目安	基本使用料(円) ①	従量使用料(円) ②	使用料合計(円) ③=①+②	改定前使用料(円) ④	差額(円) ③-④	改定率 ③/④×100	使用料単価 (円/m ³)
10 m3	1人世帯		1,300	3,000	1,800	1,200	66.7%	300.0
20 m3	2人世帯		2,540	4,240	3,100	1,140	36.8%	212.0
30 m3	2人世帯		3,840	5,540	4,400	1,140	25.9%	184.7
40 m3	3人世帯		5,140	6,840	5,700	1,140	20.0%	171.0
50 m3	4人世帯		6,710	8,410	7,100	1,310	18.5%	168.2
100 m3	アパート、保育所	1,700	14,170	15,870	14,100	1,770	12.6%	158.7
200 m3	学校、飲食店		26,470	28,170	28,100	70	0.2%	140.9
500 m3	学校、スーパー		65,470	67,170	73,100	-5,930	-8.1%	134.3
1,000 m3	研究機関、大型店舗		135,970	137,670	148,100	-10,430	-7.0%	137.7
10,000 m3	大学、研究所		1,386,970	1,388,670	1,498,100	-109,430	-7.3%	138.9
100,000 m3	大学、研究所		13,896,970	13,898,670	14,998,100	-1,099,430	-7.3%	139.0
200,000 m3	大学、研究所		27,796,970	27,798,670	29,998,100	-2,199,430	-7.3%	139.0
合計(千円)		1,180,674 24.6%	3,624,424 75.4%	4,805,098 100.0%	4,058,303	746,795	18.4%	177.1
水量区分	有収水量(m ^l)	使用料収入(千円)	使用料単価(円)	従量単価(円)	改定前従量単価(円)	区分毎改定率		
1-10	901,381	401,859	445.8	130	130	111.1%		
11-20	2,242,127	539,469	240.6	124	130	47.5%		
21-40	6,566,146	1,209,895	184.3	130	130	25.7%		
41-70	6,759,267	1,135,442	168.0	157	140	18.3%		
71-100	1,404,268	227,636	162.1	144	140	14.8%		
101-200	810,476	121,876	150.4	123	140	6.8%		
201-500	907,249	124,267	137.0	130	150	-4.8%		
501-1000	770,630	105,125	136.4	141	150	-7.4%		
1001-	6,770,681	939,529	138.8	139	150	-7.3%		
合計		27,132,225	4,805,098	177.1	-	-	18.4%	
累進度				1.28	1.15			

C AとDの従量単価の中間値をとったもの(1700円・4区分)								
水量区分	使用者目安	基本使用料(円) ①	従量使用料(円) ②	使用料合計(円) ③=①+②	改定前使用料(円) ④	差額(円) ③-④	改定率 ③/④×100	使用料単価 (円/m ³)
10 m3	1人世帯		800	2,500	1,800	700	38.9%	250.0
20 m3	2人世帯		2,200	3,900	3,100	800	25.8%	195.0
30 m3	2人世帯		3,600	5,300	4,400	900	20.5%	176.7
40 m3	3人世帯		5,000	6,700	5,700	1,000	17.5%	167.5
50 m3	4人世帯		6,500	8,200	7,100	1,100	15.5%	164.0
100 m3	アパート、保育所	1,700	14,000	15,700	14,100	1,600	11.3%	157.0
200 m3	学校、飲食店		29,000	30,700	28,100	2,600	9.3%	153.5
500 m3	学校、スーパー		77,000	78,700	73,100	5,600	7.7%	157.4
1,000 m3	研究機関、大型店舗		157,000	158,700	148,100	10,600	7.2%	158.7
10,000 m3	大学、研究所		1,597,000	1,598,700	1,498,100	100,600	6.7%	159.9
100,000 m3	大学、研究所		15,997,000	15,998,700	14,998,100	1,000,600	6.7%	160.0
200,000 m3	大学、研究所		31,997,000	31,998,700	29,998,100	2,000,600	6.7%	160.0
合計(千円)		1,180,674 24.6%	3,612,050 75.4%	4,792,724 100.0%	4,058,303	734,421	18.1%	176.6
水量区分	有収水量(m ^l)	使用料収入(千円)	使用料単価(円)	従量単価(円)	改定前従量単価(円)	区分毎改定率		
1-10	901,381	356,789	395.8	80	130	87.4%		
11-20	2,242,127	477,301	212.9	140	130	30.5%		
21-40	6,566,146	1,158,239	176.4	140	130	20.4%		
41-70	6,759,267	1,106,687	163.7	150	140	15.3%		
71-100	1,404,268	222,746	158.6	150	140	12.3%		
101-200	810,476	125,921	155.4	150	140	10.4%		
201-500	907,249	141,370	155.8	160	150	8.3%		
501-1000	770,630	121,921	158.2	160	150	7.3%		
1001-	6,770,681	1,081,750	159.8	160	150	6.8%		
合計		27,132,225	4,792,724	176.6	-	-	18.1%	
累進度				2.00	1.15			

A 「基本的考え方」に基づく使用料体系のマイナス改定部分を小口側の負担軽減に充てたもの(1700円・3区分)								
水量区分	使用者目安	基本使用料(円) ①	従量使用料(円) ②	使用料合計(円) ③=①+②	改定前使用料(円) ④	差額(円) ③-④	改定率 ③/④*100	使用料単価 (円/m ³)
10 m3	1人世帯	1,700	1,100	2,800	1,800	1,000	55.6%	280.0
20 m3	2人世帯		2,400	4,100	3,100	1,000	32.3%	205.0
30 m3	2人世帯		3,700	5,400	4,400	1,000	22.7%	180.0
40 m3	3人世帯		5,000	6,700	5,700	1,000	17.5%	167.5
50 m3	4人世帯		6,500	8,200	7,100	1,100	15.5%	164.0
100 m3	アパート、保育所		14,000	15,700	14,100	1,600	11.3%	157.0
200 m3	学校、飲食店		29,000	30,700	28,100	2,600	9.3%	153.5
500 m3	学校、スーパー		74,000	75,700	73,100	2,600	3.6%	151.4
1,000 m3	研究機関、大型店舗		149,000	150,700	148,100	2,600	1.8%	150.7
10,000 m3	大学、研究所		1,499,000	1,500,700	1,498,100	2,600	0.2%	150.1
100,000 m3	大学、研究所	14,999,000	15,000,700	14,998,100	2,600	0.0%	150.0	
200,000 m3	大学、研究所		29,999,000	30,000,700	29,998,100	2,600	0.0%	150.0
合計(千円)		1,180,674 24.6%	3,623,195 75.4%	4,803,869 100.0%	4,058,303	745,566	18.4%	177.1
5								
水量区分	有収水量(m ³)	使用料収入(千円)	使用料単価(円)	従量単価(円)	改定前従量単価(円)	区分毎改定率		
1-10	901,381	383,831	425.8	110	130	101.6%		
11-20	2,242,127	514,300	229.4	130	130	40.6%		
21-40	6,566,146	1,179,479	179.6	130	130	22.6%		
41-70	6,759,267	1,106,687	163.7	150	140	15.3%		
71-100	1,404,268	222,746	158.6	150	140	12.3%		
101-200	810,476	125,921	155.4	150	140	10.4%		
201-500	907,249	138,127	152.2	150	150	5.8%		
501-1000	770,630	116,337	151.0	150	150	2.4%		
1001-	6,770,681	1,016,441	150.1	150	150	0.3%		
合計	27,132,225	4,803,869	177.1	-	-	18.4%		
累進度				1.36	1.15			

検討パターンの詳細②

現 行(R8)								
水量区分	使用者目安	基本使用料 ①	従量使用料 ②	使用料合計 ③=①+②	改定前使用料 ④	差額 ③-④	改定率 ③/④*100	使用料単価
10 m3	1人世帯	500	1,300	1,800	1,800	0	0.0%	180.0
20 m3	2人世帯		2,600	3,100	3,100	0	0.0%	155.0
30 m3	2人世帯		3,900	4,400	4,400	0	0.0%	146.7
40 m3	3人世帯		5,200	5,700	5,700	0	0.0%	142.5
50 m3	4人世帯		6,600	7,100	7,100	0	0.0%	142.0
100 m3	アパート、保育所		13,600	14,100	14,100	0	0.0%	141.0
200 m3	学校、飲食店		27,600	28,100	28,100	0	0.0%	140.5
500 m3	学校、スーパー		72,600	73,100	73,100	0	0.0%	146.2
1,000 m3	研究機関、大型店舗		147,600	148,100	148,100	0	0.0%	148.1
10,000 m3	大学、研究所		1,497,600	1,498,100	1,498,100	0	0.0%	149.8
100,000 m3	大学、研究所	14,997,600	14,998,100	14,998,100	0	0.0%	150.0	
200,000 m3	大学、研究所		29,997,600	29,998,100	29,998,100	0	0.0%	150.0
合計(千円)		347,257 8.6%	3,711,046 91.4%	4,058,303 100.0%	4,058,303	0	0.0%	149.6

水量区分	有収水量(m ³)	使用料収入(千円)	使用料単価(円)	従量単価(円)
1-10	901,381	190,407	211.2	130
11-20	2,242,127	365,751	163.1	130
21-40	6,566,146	962,225	146.5	130
41-70	6,759,267	959,554	142.0	140
71-100	1,404,268	198,326	141.2	140
101-200	810,476	114,088	140.8	140
201-500	907,249	130,548	143.9	150
501-1000	770,630	113,578	147.4	150
1001-	6,770,681	1,013,324	149.7	150
合計	27,132,225	4,058,303	149.6	0

累進度		1.15
-----	--	------

F EとGの従量単価の中間値をとったもの(1300円・4区分)								
水量区分	使用者目安	基本使用料(円) ①	従量使用料(円) ②	使用料合計(円) ③=①+②	改定前使用料(円) ④	差額(円) ③-④	改定率 ③/④×100	使用料単価 (円/m3)
10 m3	1人世帯	1,300	1,100	2,400	1,800	600	33.3%	240.0
20 m3	2人世帯		2,500	3,800	3,100	700	22.6%	190.0
30 m3	2人世帯		3,900	5,200	4,400	800	18.2%	173.3
40 m3	3人世帯		5,300	6,600	5,700	900	15.8%	165.0
50 m3	4人世帯		6,900	8,200	7,100	1,100	15.5%	164.0
100 m3	アパート、保育所		14,900	16,200	14,100	2,100	14.9%	162.0
200 m3	学校、飲食店		30,900	32,200	28,100	4,100	14.6%	161.0
500 m3	学校、スーパー		81,900	83,200	73,100	10,100	13.8%	166.4
1,000 m3	研究機関、大型店舗		166,900	168,200	148,100	20,100	13.6%	168.2
10,000 m3	大学、研究所		1,696,900	1,698,200	1,498,100	200,100	13.4%	169.8
100,000 m3	大学、研究所	16,996,900	16,998,200	14,998,100	2,000,100	13.3%	170.0	
200,000 m3	大学、研究所		33,996,900	33,998,200	29,998,100	4,000,100	13.3%	170.0
合計(千円)		902,868 18.8%	3,906,935 81.2%	4,809,803 100.0%	4,058,303	751,500	18.5%	177.3
水量区分	有収水量(m ³)	使用料収入(千円)	使用料単価(円)	従量単価(円)	改定前従量単価(円)	区分毎改定率		
1-10	901,381	316,848	351.5	110	130	66.4%		
11-20	2,242,127	462,446	206.3	140	130	26.4%		
21-40	6,566,146	1,136,514	173.1	140	130	18.1%		
41-70	6,759,267	1,107,996	163.9	160	140	15.5%		
71-100	1,404,268	228,141	162.5	160	140	15.0%		
101-200	810,476	130,919	161.5	160	140	14.8%		
201-500	907,249	148,985	164.2	170	150	14.1%		
501-1000	770,630	129,097	167.5	170	150	13.7%		
1001-	6,770,681	1,148,857	169.7	170	150	13.4%		
合計	27,132,225	4,809,803	177.3	—	—	18.5%		
累進度				1.55	1.15			

(参考)

「基本的考え方」に基づき算定した使用料体系(1300円・7区分)

水量区分	使用者目安	基本使用料(円)	従量使用料(円)	使用料合計(円)	改定前使用料(円)	差額(円)	改定率	使用料単価(円/m3)
		①	②	③=①+②	④	③-④	③/④*100	
10 m3	1人世帯	1,300	1,390	2,690	1,800	890	49.4%	269.0
20 m3	2人世帯		2,710	4,010	3,100	910	29.4%	200.5
30 m3	2人世帯		4,110	5,410	4,400	1,010	23.0%	180.3
40 m3	3人世帯		5,510	6,810	5,700	1,110	19.5%	170.3
50 m3	4人世帯		7,220	8,520	7,100	1,420	20.0%	170.4
100 m3	アパート、保育所		15,320	16,620	14,100	2,520	17.9%	166.2
200 m3	学校、飲食店		28,520	29,820	28,100	1,720	6.1%	149.1
500 m3	学校、スーパー		70,220	71,520	73,100	-1,580	-2.2%	143.0
1,000 m3	研究機関、大型店舗		146,720	148,020	148,100	-80	-0.1%	148.0
10,000 m3	大学、研究所		1,496,720	1,498,020	1,498,100	-80	0.0%	149.8
100,000 m3	大学、研究所		14,996,720	14,998,020	14,998,100	-80	0.0%	150.0
200,000 m3	大学、研究所		29,996,720	29,998,020	29,998,100	-80	0.0%	150.0
合計(千円)		902,868 18.8%	3,896,374 81.2%	4,799,242 100.0%	4,058,303	740,939	18.3%	176.9

水量区分	有収水量(m)	使用料収入(千円)	使用料単価(円)	従量単価(円)	改定前従量単価(円)	区分毎改定率
1-10	901,381	342,988	380.5	139	130	80.1%
11-20	2,242,127	499,472	222.8	132	130	36.6%
21-40	6,566,146	1,182,137	180.0	140	130	22.9%
41-70	6,759,267	1,151,857	170.4	171	140	20.0%
71-100	1,404,268	236,705	168.6	156	140	19.4%
101-200	810,476	128,238	158.2	132	140	12.4%
201-500	907,249	131,995	145.5	139	150	1.1%
501-1000	770,630	112,622	146.1	153	150	-0.8%
1001-	6,770,681	1,013,228	149.6	150	150	0.0%
合計	27,132,225	4,799,242	176.9	-	-	18.3%

累進度

1.301.15

G 改定率が同程度となるように調整したもの(1300円・4区分)								
水量区分	使用者目安	基本使用料(円) ①	従量使用料(円) ②	使用料合計(円) ③=①+②	改定前使用料(円) ④	差額(円) ③-④	改定率 ③/④*100	使用料単価 (円/㎡)
10 ㎡	1 人世帯	1,300	1,000	2,300	1,800	500	27.8%	230.0
20 ㎡	2 人世帯		2,500	3,800	3,100	700	22.6%	190.0
30 ㎡	2 人世帯		4,000	5,300	4,400	900	20.5%	176.7
40 ㎡	3 人世帯		5,500	6,800	5,700	1,100	19.3%	170.0
50 ㎡	4 人世帯		7,100	8,400	7,100	1,300	18.3%	168.0
100 ㎡	アパート、保育所		15,100	16,400	14,100	2,300	16.3%	164.0
200 ㎡	学校、飲食店		31,100	32,400	28,100	4,300	15.3%	162.0
500 ㎡	学校、スーパー		82,100	83,400	73,100	10,300	14.1%	166.8
1,000 ㎡	研究機関、大型店舗		167,100	168,400	148,100	20,300	13.7%	168.4
10,000 ㎡	大学、研究所		1,697,100	1,698,400	1,498,100	200,300	13.4%	169.8
100,000 ㎡	大学、研究所	16,997,100	16,998,400	14,998,100	2,000,300	13.3%	170.0	
200,000 ㎡	大学、研究所		33,997,100	33,998,400	29,998,100	4,000,300	13.3%	170.0
合計(千円)		902,868 18.6%	3,945,094 81.4%	4,847,962 100.0%	4,058,303	789,659	19.5%	178.7
水量区分	有収水量(㎡)	使用料収入(千円)	使用料単価(円)	従量単価(円)	改定前従量単価(円)	区分毎改定率		
1-10	901,381	307,834	341.5	100	130	61.7%		
11-20	2,242,127	455,158	203.0	150	130	24.4%		
21-40	6,566,146	1,158,725	176.5	150	130	20.4%		
41-70	6,759,267	1,134,509	167.8	160	140	18.2%		
71-100	1,404,268	231,600	164.9	160	140	16.8%		
101-200	810,476	132,162	163.1	160	140	15.8%		
201-500	907,249	149,568	164.9	170	150	14.6%		
501-1000	770,630	129,309	167.8	170	150	13.9%		
1001-	6,770,681	1,149,097	169.7	170	150	13.4%		
合計	27,132,225	4,847,962	178.7	-	-	19.5%		
累進度				1.70	1.15			

E 「基本的考え方」に基づく使用料体系のマイナス改定部分を小口側の負担軽減に充てたもの(1300円・3区分)								
水量区分	使用者目安	基本使用料(円) ①	従量使用料(円) ②	使用料合計(円) ③=①+②	改定前使用料(円) ④	差額(円) ③-④	改定率 ③/④*100	使用料単価 (円/m3)
10 m3	1人世帯	1,300	1,200	2,500	1,800	700	38.9%	250.0
20 m3	2人世帯		2,600	3,900	3,100	800	25.8%	195.0
30 m3	2人世帯		4,000	5,300	4,400	900	20.5%	176.7
40 m3	3人世帯		5,400	6,700	5,700	1,000	17.5%	167.5
50 m3	4人世帯		7,000	8,300	7,100	1,200	16.9%	166.0
100 m3	アパート、保育所		15,000	16,300	14,100	2,200	15.6%	163.0
200 m3	学校、飲食店		31,000	32,300	28,100	4,200	14.9%	161.5
500 m3	学校、スーパー		79,000	80,300	73,100	7,200	9.8%	160.6
1,000 m3	研究機関、大型店舗		159,000	160,300	148,100	12,200	8.2%	160.3
10,000 m3	大学、研究所		1,599,000	1,600,300	1,498,100	102,200	6.8%	160.0
100,000 m3	大学、研究所	15,999,000	16,000,300	14,998,100	1,002,200	6.7%	160.0	
200,000 m3	大学、研究所		31,999,000	32,000,300	29,998,100	2,002,200	6.7%	160.0
合計(千円)		902,868 18.8%	3,894,519 81.2%	4,797,387 100.0%	4,058,303	739,084	18.2%	176.8

水量区分	有収水量(m)	使用料収入(千円)	使用料単価(円)	従量単価(円)	改定前従量単価(円)	区分毎改定率
1-10	901,381	325,862	361.5	120	130	71.1%
11-20	2,242,127	477,301	212.9	140	130	30.5%
21-40	6,566,146	1,158,239	176.4	140	130	20.4%
41-70	6,759,267	1,121,253	165.9	160	140	16.9%
71-100	1,404,268	229,871	163.7	160	140	15.9%
101-200	810,476	131,540	162.3	160	140	15.3%
201-500	907,249	146,034	161.0	160	150	11.9%
501-1000	770,630	123,619	160.4	160	150	8.8%
1001-	6,770,681	1,083,668	160.1	160	150	6.9%
合計	27,132,225	4,797,387	176.8	-	-	18.2%

累進度	1.33	1.15
-----	------	------

スケジュール

開催時期等			主な審議事項	備考
令和 7年	1月28日(火)	第1回	諮問 下水道使用料の改定について	
	2月26日(水)	第2回	使用料体系について 使用料対象経費の配賦について	
	3月26日(水)	第3回	基本使用料と従量使用料について	
	5月16日(金)	第4回	基本使用料と従量使用料について 累進度と累進段階について	
	6月2日(月)	第5回	従量使用料について 累進度と累進段階について	
	7月3日(木)	第6回	答申について	
	9月	—	下水道条例改正案を市議会に提出	